

「森之下橋架け替え事業」

令和2年11月2日協議終了

行為の概要

申出者	西宮市長 石井 登志郎
設計者	西宮市 道路補修課
行為の場所	西宮市 大社町 ～ 六軒町
敷地面積	
施設用途	橋りょう
規模	道路幅員 22.50m / 延長 13.00m
備考	

※この資料に記載の内容は、令和2年11月2日時点のものであり、その後変更となる可能性があります。

計画策定段階協議での意見概要と検討結果について
 (森之下橋架替事業について)

意見の概要及び協議事項	検討結果
<p>親柱は、様々な角度から見られることを考慮し、どの角度から見ても違和感のない形状(円柱等)が望ましい。また、背景には山があり、周囲には植樹帯があるので、目立たないデザインがよい。</p>	<p>ご指摘の内容を踏まえて高欄の形状・デザインについて検討していきます。</p>
<p>欄干は、背景に配慮したこげ茶のような主張しない色彩とすることが望ましい。</p>	
<p>張出歩道の平面形状は、暫定形でも完成形でも滑らかにした方がよい。</p>	<p>現設計の荷重に耐えられる範囲内で曲線化への対応について検討していきます。</p>
<p>上流部の片持ち底版部が必要なくなるように、S字カーブの直線距離を伸ばした方がよい。</p>	<p>S字カーブの直線距離を伸ばした場合、歩道幅員を狭めることになるため、当該計画としております。</p>
<p>桁部分は、部材の重なりが何層にも見えないよう一体的な形状に見せる工夫をし、上流側と下流側の断面が大きく変わらないようにした方がよい。</p>	<p>ご指摘の内容を踏まえて張出床版部や桁端部の詳細構造について検討していきます。</p>
<p>橋梁側面は、汚れが目立たないよう水汚れ防止の対策をした方がよい。</p>	<p>表面保護工等の防止対策について検討していきます。</p>
<p>新植する際は、常にドライバーの視線の先に樹木が見える位置がよい。桜を主体とした植栽計画とすることが良く、縦に伸びるヤマザクラが望ましい。</p>	<p>現在、河川協議において、河川沿いの桜の設置・復旧が認められておりません。 今後、護岸への影響を最小限にとどめる植樹方法について検討した上で、継続して河川協議を行っていきます。</p>
<p>河岸を植栽帯として有効に使えるように、石積擁壁を積み替える際は、練積みとした方がよい。</p>	